

## 2023 Round.5 SUZUKA

### 第5戦 鈴鹿サーキット

SUZUKA CIRCUIT (JPN)  
August 26 / SAT - August 27 / SUN  
Yogibo NSX GT3 [GT300 class]  
Driver : Yugo Iwasawa / Reimei Ito



## スピードを取り戻し上位争いを展開 9位に食い込み今季2回目の入賞

### 第4戦から続く好調 公式練習から速さみせる

富士スピードウェイで行われた第4戦では、思わぬ結果となった予選、変わりゆく天候に翻弄された決勝と、結果を残すことができず20位に終わったYogibo Racing。しかしこのレースではYogibo NSX GT3のセットアップに光明を見出しており、速さが戻ってきていたことは事実。チームはその流れを繋げるべく、8月26日(土)~27日(日)に迎えた第5戦に臨んだ。

6月の第3戦と同じ鈴鹿サーキットが舞台だが、気温がまったく異なり、迎えた8月26日(土)は気温33度という暑さで迎えた。チームにとって不測の事態となってしまったのは、この週末芳賀美里監督が突然の体調不良により、サーキットに来場できなくなったこと。幸い芳賀監督は大事には至ってはいなかったが、密山祥吾監督代理を中心として芳賀監督に朗報を届けるべく、チームが一丸となってレースウィークに臨んでいくことになった。

Yogibo NSX GT3は、午前9時15分から行われた公式練習で岩澤優吾からコースイン。二度のピットインを行いながら、14周目には1分59秒797というベストタイムを記録し、16周をこなした後ピットへ。岩澤の感触は「それほど悪くない」というもので、交代した伊東黎明も「前戦のような感触ではなかったですが、セットアップを進め良くなりました」と好感触。岩澤のタイムで順位は3番手。手ごたえを得て公式練習を締めくくった。

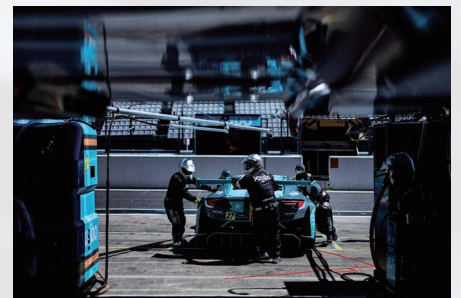
### ひさびさのQ2進出 予選8番手につける

公式練習での好結果を繋げるべく臨んだ公式予選は、直前のFIA-F4の遅れの影響で、10分ディレイとなる午後3時20分から始まった。午前から変わらず気温33度という酷暑のなか、B組からQ1に臨んだYogibo NSX GT3のアタッカーを務めたのは伊東だ。

伊東は4周目、1分59秒548というベストタイムを記録。4番手で開幕戦以来のQ1突破を果たしてみせた。ただ伊東本人にとっては「アタックとしてはげんげ

## Report of Saturday

土曜日公式練習 / 公式予選



ん納得いかなくて、1周しっかりまとめることができませんでした」という結果に。とはいえ、しっかりとQ2進出を決め仕事を果たした。

待望のQ2のアタックを務めることになった岩澤は、「黎明がしっかり結果を出してくれたのは嬉しかったのですが、僕も頑張ってアタックしたものの、まわりのベテランドライバーさんたちの上げ幅が大きかったです」と1分59秒292というタイム。他車のペナルティもあり結果は8番手だった。「自分の課題が見えたと思います」と岩澤は新たな課題も得ることに。結果の嬉しさと、それぞれの課題が入り交じる予選となった。







## 強豪たちと熾烈な争い 入賞圏内を争う

この週末はずっと酷暑が続いていた鈴鹿サーキットだったが、予選後の夜には雨も降り、決勝日の朝はいくぶん暑さが和らぐなかで迎えた。ただ、昼までにどんどんと気温が上がり、午後2時45分にバードラップが始まった決勝は、気温33度/路面温度50度というコンディションで始まった。

芳賀監督不在をフォローすべく、木村誠司 Yogibo CEO もピットレーンでチームを助けるなか、伊東がスタートドライバーを務めた Yogibo NSX GT3 は、強豪ぞろいの序盤戦を戦っていく。今回のレースも450km という距離で2回の給油をともなうピットインが義務づけられているが、5周を過ぎると、早めにピットインを行い空いたスペースを走るアンダーカットを狙う車両が出てきた。Yogibo NSX GT3 も上位争いでのタイムロスを避けるため14周を終えて



監督代理を務めた密山祥吾

ピットイン。伊東がステアリングを握ったまま、まずは一度ピット義務をこなした。

一方ピットインを引っ張ったライバルたちは、24～27周目あたりに続々とピットイン。各車が一度目のピットを終えると、伊東がドライブする Yogibo NSX GT3 は7番手前後を争うポジションにつけた。伊東は早々にピットインしていた #7 BMW を34周目にかわずなどポジションを上げていき、37周目には序



盤ピットインした陣営の2回目のピットにともない、4番手まで浮上。伊東は39周まで走るとふたたびピットインし、岩澤に交代することになった。

今季の SUPER GT は中盤以降大きなアクシデントがあったり、雨が絡み展開が複雑化することが多かったものの、この第5戦はストップ車両発生によるフルコースイエロー (FCY) 導入こそあったが、セーフティカーラン等はなくレースは進んでいった。ただ45周目、ランキング上位を争っていた #56 GT-R が130R

## Report of Sunday

### 日曜/決勝レース

でクラッシュし、このため2回目の FCY が導入されることになった。このタイミングをうまく使いピットインした2台がその後のレースでトップ争いを展開していくことになるが、彼らはレース中盤、Yogibo NSX GT3 の後方を走っていた2台。必然的に Yogibo NSX GT3 はふたつ順位が下がってしまった。

とはいえ、これはレース中の“運”も絡むことであり、下を向いてもいられない。各車が2回のピットストップをこなすと、Yogibo NSX GT3 の順位は8番手。入賞圏内を戦うことができていた。コクピットの岩澤は前を追い、チェッカーを目指していった。

### 8位は間近も…… 岩澤には悔しい最終周に

しかし、31周という非常に長いステントをこなしたタイヤに苦しみ始めていた岩澤の背後から、#96 RC F が接近してきた。しかもドライブしているのは、岩澤の成長を支えてきてくれた“師匠”でもある高木真一選手。百戦錬磨のベテランだ。岩澤はしっかりと順位を守り切り、成長を見せつけたかった。

岩澤はファイナルラップまで8番手を死守していたが、最終週の逆バンクで後方から迫った GT500 車両を先行させる際、#96 RC F が老獪なテクニックをみせ岩澤をかわしていった。Yogibo NSX GT3 は9位でフィニッシュし、ひさびさのポイントを獲得することができたが、8位を守り切れなかった岩澤にとっては悔いが残るファイナルラップとなってしまった。

しかし、上位を争わなければこの悔しさは味わうことはできない。何より岩澤にとって今後の成長への大きな糧にもなった。この悔しさをさらなる上位進出に繋げるべく、Yogibo Racing はスポーツランド SUGO での第6戦に臨む。

### — Race Results —

予選 8番手  
決勝 9位

### — Rounds Schedule —

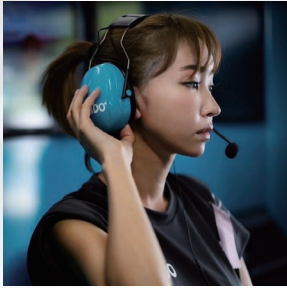
9/16-17 Round6 SUGO

10/14-15 Round7 AUTOPOLIS



## Race Comment レースコメント

NEXT Race is  
SPORTSLAND SUGO



チーム力向上を  
感じられたレースでした

芳賀美里 監督  
MISATO HAGA

@misato\_SUPERGT

公式練習から、今回こそ Q1 を上位で突破できる手応えがありました。Q1 の伊東選手が期待どおりの仕事をしてくれ、Q2 の岩澤選手につなぎ9番手とシングルに。その後は他車のペナルティで繰り上げとなり、8番手から決勝を迎えることになりました。十分に表彰台圏内を狙えたと思います。決勝では前半伊東選手が4番手まで追いつけ、岩澤選手にドライバー交代。ピット作業でもミスなく、後半も追いつけるレース展開となりました。タイヤは後半厳しくなりましたが、ファイナルラップまで後続を抑えたものの、結果的にチェッカー目前でかわされ9位となりました。今回はポイントを獲得できたことはもちろん、チーム力が上がったと感じられるレースでした。次の SUGO は表彰台を目指し、諦めずに挑戦していきます。



悔しさもあったレース  
次戦は予選から上位に

伊東黎明 選手  
REIMEI ITO

@reimei\_ito\_

レース序盤は、上位陣の“トレイン”に引っかかってしまうかたちとなりました。僕たちはセクター1が速かったのですが、引っかかってしまったこともあり、早めにピットインする決断を下しました。僕の第2スティントでは、初めて履くタイヤを使ったのですがとても感触が良く、トップと同じくらいのペースで走ることができたと思います。ただ、スティント終盤にもう少しタイムを縮められれば、最後は岩澤選手に楽をさせてあげられたのかな、と思うと少し悔しいです。ポイントは獲れましたが、悔しさもあります。次戦のSUGOはNSX GT3にとっても相性が良いサーキットだと聞いていますし、僕自身もこれまで優勝を飾ったりと、好きなサーキットでもあります。ガツンと予選上位につけて、決勝でもそのまま勝ちに行きたいです。



最終周はすごく悔しい  
次戦はチャンスだと思う

岩澤優吾 選手  
YUGO IWASAWA

@yugoiwasawa

スタートから伊東選手が良いレースを展開してくれて、僕に交代した直後はすごくペースも良かったです。ただそこからはタイヤの落ち幅があり、なんとかドライビングでカバーしようと試行錯誤しながら走っていました。僕たちが履いていたソフトタイヤがどれくらい落ちるか検証できていなかったのですが、最後はペースが厳しくなりましたね。終盤、#96 RC Fの高木選手がうしろから来ていて、ファイナルラップで逆転されてしまったのはすごく悔しいです。絶対に抜かせないと思っていたのですが、やられてしまった。抜かれた後のテクニックもすごく、チームのために結果に結びつけられなかった悔しさもありますが、同時にすごく勉強にもなりました。次戦のSUGOは上位進出のチャンスだと思うので、しっかり頑張っていきたいです。

## Information 私たちにも会いに来てください！ Yogibo Racing Girlsが活躍中

サーキットでも大きな注目を集めている Yogibo Racing ですが、毎戦ピットウォークやグリッド、キッズピットウォーク等を盛り上げてくれる Yogibo Racing Girls も大活躍中です。

今シーズンは昨年から継続して活躍してくれている青木もも (@momo\_aooki)、そして新人レースクイーンの早乙女るな (@RunaSaotome)、立花

おり (@tatibana\_shiori)、そして日本レースクイーン大賞 2023 で新人部門入賞を果たした一之瀬優香 (@ichinose\_yuka) =写真という4名がサーキットで活躍中です。

今シーズンも残り3戦となりましたが、ぜひピットウォーク等のイベントで彼女たちにも会いに来てください！

